

第2部課程第170期（平成26年5月8日～平成26年7月17日）

課目名	4-6 地域コミュニティと行政
時限数	2時限
担当講師	<p>山梨学院大学教授 日高 昭夫 <プロフィール></p> <p>昭和55年3月 中央大学大学院法学研究科修士課程修了（法学修士）</p> <p>昭和55年4月 財団法人自治研修協会・地方自治研究資料センター研究員</p> <p>平成3年4月 山梨学院大学法学部行政学科専任講師</p> <p>平成22年4月～現在 山梨学院大学法学部長</p> <p>平成25年4月～山梨学院大学副学長</p>
ねらい	近年、「新しい公共」論など、公共サービスの担い手についての議論が活発化している。本講義では、公共性の見直し論を視野におきながら、地域コミュニティと市町村行政との関係に焦点をあて、その現状と沿革を「地域協働体制」という観点から見直す。それを通して、今後のコミュニティ・ガバナンスのあり方と行政のあり方を探ることをねらいとする。
講義概要	<ul style="list-style-type: none"> ① 公共サービスや社会サービスのあり方の歴史的変遷を振り返りながら、現代日本における地域社会の構造的変動と課題を理解する。 ② 地域社会の新たな問題解決の仕組みとしてのローカル・ガバナンスのあり方を考察する。リスク分担型の多元的な地域ガバナンス体制の整備の必要性を理解する。 ③ ボランティア・NPO セクターの育成を視野に入れつつ、地域コミュニティの再組織化の基本的な考え方について考える。 ④ 市町村行政と地域コミュニティ組織、特に町内会自治会との「協働」の現状と歴史を再検討し、今後の関係のあり方を考える。
受講上の注意	プロジェクトで使うスライド（パワーポイント）は、講義終了後に希望者にダウンロードできるようにする。配布資料の印刷状態が鮮明でなくても、講義中にスライドを書き写すなどは特に必要ないので、講義に集中してもらいたい。
使用教材	スライド及び配布資料（スライドの印刷）
効果測定	本講義用の「リアクションペーパー」を提出する。
その他 (他の課目との関連)	なし